サル用ICUシステム　一式
（搬入、据付、配線、配管、調整等を含む）

仕　様　書

平成27年8月

国立大学法人　滋賀医科大学

1　調達の背景及び目的

動物生命科学研究センターでは顕微授精・人工繁殖技術を用いてMHC ホモ個体を作出することが本個別課題の目的の1つであり、これまで2年間にわたり計画を実施してきた。その過程でサルMHC ホモの人工繁殖過程における流産（死産）率の高さが判明した。そこで、流産・死産対策としてまず第一に、手術に伴う合併症（感染症等）の低減を図る必要がある。手術および術後管理環境の改善を目的として、サル用ICUシステム一式を導入することとした。

2　調達物品及び構成内訳

サル用ICUシステム　一式

（構成内訳）

① クリンブース　1台

② ICケージユニット（クリンブース内に設置）　2台

③ 作業台（クリンブース内に設置）　1台

以上、搬入、据付、配線、配管、調整等を含む(詳細については別紙1の「技術的要件」に示す)。

3　技術的要件の概要

（1）　本調達物品に係る性能・機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求要件（以下「技術的要件」という。）　は、別紙に示すとおりである。

（2）技術的要件はすべて必須の要求要件である。

（3）　必須の要求要件は本学が必要とする最低限の要求要件を示しており、入札機器の性能等がこれを満たして　いないとの判定がなされた場合には、不合格となり、落札決定の対象から除外する。

（4）　入札機器の性能等が技術的要件を満たしているか否かの判定は、本学技術審査職員が、入札機器に係る技術仕様書を含む入札説明書で求める提出資料の内容を審査して行う。

4　その他

（1）仕様に関する留意事項

機器は、入札時点で製品化されていない物品で応札する場合には、技術的要件を満たすことが可能な旨の説明書、開発計画書、納期に間に合うことの根拠を十分に説明できる資料及び確約書等を提出すること。

（2）提案に関する留意事項

①　提案に関しては、提案物品が本仕様書の要求要件をどのように満たすか、あるいはどのように実現するのかを、要求要件ごとに具体的かつわかりやすく、資料等を添付する等して説明すること。従って、審査するに当たって提案の根拠が不明確、説明が不十分で技術審査に重大な支障があると本学技術審査職員が判断した場合は、要求要件を満たしていないものとみなす。

②　提出資料等に関する照会先を明記すること。

③　提案された内容等について、問い合わせやヒアリングを行うことがある。

別 紙 1

調 達 物 品 に 備 え る べ き 技 術 的 要 件

（性能・機能に関する要件）

サル用ICUシステム

1　装置本体

1- 1 クリンブース

1- 1 -1　装置本体はW2700mm × D3200mm × H2400mm以下であること。

1- 1 -2　本体外装は支柱がアルミ製、壁面等のパネルは帯電防止ポリカーボネート製であること。

1- 1 -3　出入り口はエアーロック構造で、二枚の扉を有すること。

1- 1 -4　クリンブース内に供給される空気はクラス1000の清浄度を常時保てるような設計であること。

1- 1 -5　設置する照明は蛍光灯等とし、LED等、動物への予期せぬ影響が危惧されるものは避けること。

1- 1 -6　ブース内に市水・温水の取水装置を設置すること。

1- 1 -7　ブース内後方に簡易出入り口を設置すること。

1- 2 ICケージユニット

1- 2 -1　飼育ラックおよび飼育ケージからなるICケージユニットは、クリンブース内に2台設置すること。

1- 2 -2　飼育ラックはW800mm × D1250mm × H1700mm以下であること。

1- 2 -3　飼育ケージはW550mm × D930mm × H850mm以下であること。

1- 2 -4　本体はSUS304・SUS316・樹脂製であること。

1- 2 -5　陰陽圧ラックの中に飼育ケージを入れることで外界との隔離が十分に出来ること。

1- 2 -6　給排気ブロアーをラックに取り付けヘパフィルターを通し給気出来ること。

1- 2 -7　飼育ラックは内部に設置した飼育ケージに十分に光が入る構造であること。

1- 2 -8　飼育ラックは下段部分に糞尿が採取できるように受け皿が付いていること。

1- 2 -9　扉は上下2分割になり、上段からはケージの出し入れ、下段からは受け皿の出し入れができること。

1- 2 -10　飼育ケージに収容した動物の腕等を引き出すことが可能な形状の扉と、格子の間隔が狭く動物が腕等を出さない形状の扉を飼育ケージごとに各１枚用意すること。

1- 2 -11　給水は飼育ケージの上下2箇所に設けていること。

1- 2 -12　飼育ケージの床部分は本学で使用しているサル用スノコ（W500mm × D800mmフェノール樹脂製カニクイザル飼育ケージ用スノコ）を使用出来ること。

1- 2 -13　飼育ケージ内部にはカテーテル用フレキが設置されていること。

1- 2 -14　動物を収容した状態で扉交換が出来るよう扉と動物の間に逸走防止用仕切り板を設置できること。

1- 3 作業台

1- 3 -1　本体はSUS304製でW800mm × D500mm × H900mm以下であること。

1- 3 -2　クリンブース内に設置し、高さをH500mm～700mmの範囲で自由に調整できること。

1- 3 -3　キャスターを4輪取り付け移動もスムーズに出来ること。

（性能・機能以外に関する要件）

1　設置場所

1-1　動物生命科学研究センター4期4階処置室に設置すること。

2　設置条件等

2-1　本調達物品の設置場所への搬入、据付、配線、配管、調整等は、本調達に含まれる。

2-2　本調達物品の搬入、据付、配管、配線、調整等については、本学の業務に支障をきたさないよう、本学の職員と協議の上、その指示によること。

2-3　本学が用意した一次側電源設備、給排水設備以外に必要な電源設備及び給排水設備があれば、

供給者において用意すること。

3　保守体制等

3-1　　保守体制

3- 1-1　年間を通じて24時間連絡がとれる体制であること。

3- 1-2　定期的保守点検を実施する体制を整備していること。

3-2　　保証期間

本調達物品納入検査確認後1年間は、通常の使用により故障した場合の無償修理に応じること。

3-3　　障害支援体制等

本調達物品に障害が発生した場合は、夜間、休日も含め通報を受けてから3時間以内に現場に専門技術者を派遣できる体制であること。

4　その他

4-1　本調達物品導入時に簡潔な取り扱い説明を行うこと。

4-2　日本語で書かれた本調達物品の取扱説明書を2部提供すること。

4-3　本調達物品導入後も技術的な質問に対し、適切に対応できる体制をとること。